

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年7月10日

**【四半期会計期間】** 第16期第1四半期（自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日）

**【会社名】** 株式会社ファステップス

**【英訳名】** Fasteps Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役 川嶋 誠

**【本店の所在の場所】** 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

**【電話番号】** 03（5360）8998（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 村山 雅経

**【最寄りの連絡場所】** 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

**【電話番号】** 03（5360）8998（代表）

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 村山 雅経

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結 累計期間	第16期 第1四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日	自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
売上高 (千円)	1,273,633	1,209,767	5,615,404
経常損失 ( ) (千円)	30,267	31,977	141,387
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失 ( ) (千円)	5,148	16,018	92,371
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,411	24,722	131,170
純資産額 (千円)	1,658,920	1,509,065	1,532,999
総資産額 (千円)	3,225,740	3,534,187	3,161,929
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期(当期)純損失金額 (円)	1.81	5.63	32.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.0	27.9	31.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第15期及び第16期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、第15期第1四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営む主な事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当社グループ会社である株式会社ライフプランニングが株式会社NSFの全株式を取得したことにより、当第1四半期連結会計期間より株式会社NSFを連結子会社にしております。

この結果、平成26年5月31日現在では、当社グループは、当社、子会社4社より構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク及び前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀における経済対策の影響により、景気回復の兆しが見られました。しかしながら、世界経済情勢が国内景気の下振れ要因として懸念され、先行きに不安を残しております。

このような状況のもと、当社グループは、多様化する顧客ニーズに対応するべく、技術力の向上や高付加価値サービスの強化を行ない、当社グループの強みである営業力・開発力と品質力で新規顧客の獲得を強化し、収益の改善に取り組んでまいりましたが、既存顧客の予算縮小の影響もあり、収益改善には至りませんでした。

また、当社グループである株式会社ライフプランニングが株式会社NSF（以下、NSF）の全株式を取得したことに伴い、NSFを連結の範囲に含めております。NSFは、美しく豊かになることの喜びと感動をわかちあい、女性一人ひとりの夢の実現に貢献することを基本理念としております。「健康で美しいからだづくり」を提供し、美容室感覚で通えるビューティプロポーション専門サロン「からだの美容室」をフランチャイズ店舗として全国に展開しており、NSFはフランチャイズ本部として、技術・ノウハウ等の提供、販促支援等を行っております。なお、みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末日としているため、当第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高1,209百万円（前年同期比5%減）、営業損失47百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。経常損益につきましては、貸倒引当金戻入額の影響等により、経常損失31百万円（前年同期は30百万円の経常損失）となり、最終損益として16百万円の四半期純損失（前年同期は5百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。

#### （システムソリューション事業）

当事業におきましては、スマートフォンアプリのタイトル数は増加し、多くの資格向けのアプリサービスの提供に努めてまいりました。しかしながら、システム案件に関しましては前年同四半期に比べて、少額の案件が集中しております。その結果、売上高は89百万円（前年同期比27.4%減）、売上構成比は7.4%となりました。セグメント利益(営業利益)は売上高の減少に伴い、売上総利益が減少したことにより11百万円となり、前年同四半期と比べ22百万円（前年同期比66.3%減）の減益となりました。

#### （メディアソリューション事業）

当事業におきましては、営業基盤の強化をより一層行なったことにより、売上は堅調に推移いたしました。競合他社との価格競争の影響もあり減益となりました。その結果、売上高は1,025百万円（前年同期比35.4%増）、売上構成比は84.7%となりました。セグメント損失(営業損失)は31百万円と前年同四半期と比べ21百万円の増益となりました。

#### （コストマネジメント事業）

当事業におきましては、顧客に対して多様なサービスの向上に努め、顧客のニーズに対応すべく積極的なアプローチの強化を行なってまいりました。また、前年同四半期での大幅なスポット売上の影響もあり、売上高は減少しております。消費税増税の影響に関しましては、増税前の駆け込み需要の反動減の影響がありました。徐々に回復傾向にあります。その結果、売上高は84百万円（前年同期比78.5%減）、売上構成比は7%となりました。セグメント損失(営業損失)は4百万円と前年同四半期と比べ17百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて155百万円増加し、2,611百万円となりました。これは、主に製品が160百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、922百万円となりました。これは、のれんが75百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて372百万円増加し、3,534百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて51百万円増加し、1,244百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が181百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ344百万円増加し、780百万円となりました。これは、長期借入金が211百万円増加したことなどによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、1,509百万円となりました。これは、利益剰余金が16百万円減少したことなどによります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は94万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,500,000
計	11,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年7月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,882,500	2,882,500	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株でありま す。
計	2,882,500	2,882,500		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年5月31日	-	2,882,500	-	983,800	-	-

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 38,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,843,900	28,439	
単元未満株式	200		
発行済株式総数	2,882,500		
総株主の議決権		28,439	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成26年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ファステップス	東京都新宿区四谷4-32-4	38,400		38,400	1.33
計		38,400		38,400	1.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仁智監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,787,004	1,729,064
受取手形及び売掛金	348,413	485,487
営業未収入金	63,855	86,711
商品及び製品	1,042	161,625
仕掛品	11,729	14,457
繰延税金資産	8,472	12,049
その他	252,398	136,137
貸倒引当金	17,126	14,165
流動資産合計	2,455,789	2,611,368
固定資産		
有形固定資産	23,400	93,642
無形固定資産		
のれん	26,447	102,106
その他	53,448	125,977
無形固定資産合計	79,895	228,083
投資その他の資産		
投資有価証券	178,738	173,795
長期貸付金	313,732	313,448
繰延税金資産	10,402	9,568
その他	310,779	313,180
貸倒引当金	210,808	208,899
投資その他の資産合計	602,843	601,093
固定資産合計	706,140	922,819
資産合計	3,161,929	3,534,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	211,179	392,399
短期借入金	*2 815,000	*2 578,215
未払法人税等	14,908	1,124
その他	152,550	273,199
流動負債合計	1,193,638	1,244,939
固定負債		
長期借入金	77,926	289,600
退職給付引当金	14,869	15,328
役員退職慰労引当金	309,063	313,418
その他	33,433	161,835
固定負債合計	435,291	780,183
負債合計	1,628,930	2,025,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,800	983,800
資本剰余金	774,915	774,915
利益剰余金	706,311	722,330
自己株式	58,994	58,994
株主資本合計	993,409	977,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,295	8,960
その他の包括利益累計額合計	9,295	8,960
新株予約権	1,838	2,627
少数株主持分	528,455	520,087
純資産合計	1,532,999	1,509,065
負債純資産合計	3,161,929	3,534,187

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,273,633	1,209,767
売上原価	1,129,305	1,078,835
売上総利益	144,328	130,931
販売費及び一般管理費	179,189	178,344
営業損失( )	34,861	47,412
営業外収益		
受取利息	2,088	2,182
受取配当金	1,584	4,215
貸倒引当金戻入額	-	5,185
その他	4,100	7,838
営業外収益合計	7,773	19,422
営業外費用		
支払利息	1,387	1,931
賃貸費用	-	1,685
その他	1,792	370
営業外費用合計	3,179	3,986
経常損失( )	30,267	31,977
特別利益		
投資有価証券売却益	6,328	-
特別利益合計	6,328	-
特別損失		
固定資産売却損	-	462
特別損失合計	-	462
税金等調整前四半期純損失( )	23,939	32,440
法人税、住民税及び事業税	22,917	9,144
法人税等調整額	11,737	1,262
法人税等合計	11,179	10,406
少数株主損益調整前四半期純損失( )	12,759	22,033
少数株主損失( )	17,908	6,014
四半期純利益又は四半期純損失( )	5,148	16,018

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	12,759	22,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,348	2,689
その他の包括利益合計	9,348	2,689
四半期包括利益	3,411	24,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,916	16,354
少数株主に係る四半期包括利益	13,328	8,368

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日至平成26年5月31日)	
連結の範囲の重要な変更	
当第1四半期連結会計期間において、当社グループ会社である株式会社ライフプランニングが平成26年3月26日付で株式会社NSFの全株式を取得したことに伴い、当社は株式会社NSFを連結の範囲に含めております。なお、株式会社NSFは平成26年5月31日をみなし取得日としております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

下記会社の金融機関からの借入金に対して次の通り保証を行なっております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
(株)スターブレン	40,000千円	40,000千円

2 当座借越契約等

当座借越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
当座借越極度額	500,000千円	650,000千円
借入実行残高	450,000千円	550,000千円
差引額	50,000千円	100,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
減価償却費	958千円	1,983千円
のれんの償却額	3,147千円	3,147千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,295	757,226	393,111	1,273,633		1,273,633
セグメント間の 内部売上高又は振替高						
計	123,295	757,226	393,111	1,273,633		1,273,633
セグメント利益又は損失( )	34,357	52,870	12,899	5,613	29,247	34,861

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 29,247千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	89,526	1,025,250	84,697	1,199,474	10,293	1,209,767	-	1,209,767
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	89,526	1,025,250	84,697	1,199,474	10,293	1,209,767	-	1,209,767
セグメント利益 又は損失( )	11,563	31,694	4,269	24,400	164	24,235	23,176	47,412

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 23,176千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )	1円81銭	5円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	5,148	16,018
普通株主に帰属しない金額(千円)		-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	5,148	16,018
普通株式の期中平均株式数(株)	2,844,100	2,844,100

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、当第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 7月10日

株式会社ファステップス  
取締役会 御中

### 仁 智 監 査 法 人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山 口 高 志 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 來 嶋 真 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ファステップスの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ファステップス及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。